

学校教育目標「正しく 豊かに たくましく」

## 重点目標

「考えよう 伝え合おう 助け合おう やり抜こう」

合い言葉

「考えよう」

## 児童の実態

- ・気持ちのよいあいさつができる。
- ・自分の考えを理由をつけて話すことができるようになってきた。
- ・友だちに対して優しく接する児童が多い。
- ・規範意識や他者意識が不足している児童がいる。

## 運営面での課題

- ・多様な児童への真心のこもった関わり
- ・授業実践の積み重ねによる授業力の向上
- ・CS初年度の土台創り
- ・榛原中学区小中一貫教育の推進
- ・ギガスクール構想の具現化

## 牧之原市教育大綱

こころざしを  
持ち、夢ある  
人づくり

## 育みたい資質能力 考える力

- ・自分で・みんなで

## 伝え合う力

- ・発信・受信

## 助け合う力

- ・助ける・助けてもらう

## やり抜く力

- ・自分が・みんなと

経営理念「I」を伸ばし「WE」を広げる 判断基準「子どもにとってどうなのか」

## 学校経営目標

- ・知徳体のバランスのとれた教育を推進する
- ・地域と連携して「ふるさとを愛する心」を育む
- ・9年間で子どもを育てるという意識をもち、全教職員で全校児童を育てる
- ・前例にとらわれず積極的にチャレンジし、充実した教育活動を行う

## 経営の基本方針

- ・持ち味を生かす
- ・対話を重視する
- ・組織で動く
- ・ねらいをしぼる

## 学びづくり部

### 研修テーマ

自分事として考え  
仲間と共に深める子  
の育成

### 重点

- その教科、その学年で身に付けたい力の明確化
- 学びを深めるための教師の働きかけの工夫

### 学びを支える土台

- ・他者を思いやる姿勢
- ・みんなで学ぼうとする姿勢
- ・人とのつながる言葉

(学習集団づくり)

- (I) 自分事として考え、学んだことを生かして解決しようとする 85%
- (WE) 自分事として考え、仲間と共に学びを実感する学習集団 80%

## 活動づくり部

育てたい子どもの姿

「自分事」として考え、動く

- (I) (WE) 様々な活動や行事に対して、めあてや課題をもつことができる 80%
- (I) (WE) 課題解決するために、創意工夫して取り組むことができる 80%
- ・新しい活動を生み出す(活動の意味を考える)
- ・PDCAサイクルの確立(単発で終わらせない)

## 心づくり部

めざす姿

「相手のことを考  
えた言動をとる」

さらに具体化しためざす姿

「相手のことを考  
えた挨拶ができる子」

## 川小の土台

- ① 聴く
- ② ほめ言葉のシャワー
- ③ 川小の約束
- ④ 学年・学校体制

- (I) 誰にでも進んで気持ちのよい挨拶ができる 95%
- (WE) 相手のことを考えた挨拶ができる 85%

中学校 こころざしを育てる

5, 6年生 リーダー、フォロワーの力を高める

3, 4年生 集団生活のよさを知る

1, 2年生 学校生活の土台を作る

第1ステージ  
「つくる」

第2ステージ  
「挑戦する」

第3ステージ  
「みがく」

第4ステージ  
「高め合う」

第5ステージ  
「つなげる」

## 川崎小コミュニティ・スクール

- (児童) 地域の方、地域教材によって豊かな体験を得て、「地域を愛する心」を育てる
- (教員) 地域の方の支援を得て、より充実した教育活動に取り組む
- (地域) 地域の子供の教育に携わって頂くことで生きがいや自己有用感につなげる

## 学校運営協議会 (年間4回実施)

「ボランティアリーダー」の集まり

## 川小応援隊 (川小応援隊の集い 年間2回実施)

「学校に貢献したい」と考えて下さる方  
(ボランティアさん)の集まり